

令和4年度八尾市生活支援コーディネーター業務実施報告書（社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会）

1. 地域資源の把握

実績	評価と今後の課題
(1) 「やお地域資源 MAP」の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動編（中学校区別） ・媒体：インターネット(随時更新)紙(年1回更新) ・新規申請件数：3件 (2) 地域活動等の把握：計 68 回 (3) 「ガイドブック」の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載機関への取材：36 件 ・シニアむけオリエンテーション等で配付（年 2 回更新） ----- 高齢者を対象とした行事や講座、ボランティア活動など八尾市内で参加できる情報を収集し、ガイドブック（活動一覧表）を作成した。	(1) 「やお地域資源 MAP」は無料サイト使用のため、サイト管理者の都合による利用停止の可能性がある。Web で地域資源マップの閲覧が難しい方に向けての紙媒体の編集も続けていくが、令和3年度から作成しているガイドブックとの併用に向け記載内容を検討していく。 (2) 徐々に地域活動が再開したり、新しい活動メニューで開催したりする地区が増え、訪問の回数も増加した。今後も継続して活動を実施できるよう支援を続けていく。 (3) 八尾市内で高齢者が楽しめる施設や事業などの取材をし、ガイドブックを更新し、八尾市内の活動紹介をする「シニア向け地域福祉オリエンテーション」の参加者等に配付した。これからも内容更新に努める。また、動画による活動紹介に向けた取材も実施した。

2. 地域資源の開発

実績	評価と今後の課題
(1) 買い物支援 とくし丸との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応、連絡調整など：計 14 回 ・現場見学：計 3 回 JA 移動販売 <ul style="list-style-type: none"> ・現場見学：計 3 回 (2) 高齢者ふれあいサロンの開設・運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談等対応：6 回 ・聞き取り調査：【対象】登録 6 団体 【内容】活動の現状把握 ・新規サロンの相談：3 回 (3) 地域活動（者）の相談等対応：計 46 回	(1) 高齢者あんしんセンターや Cow と連携し、とくし丸の対象地区内のニーズ把握やマッチング支援を行った。とくし丸以外の JA が行っている移動販売、その他の朝市など SC が収集した買い物支援に関する情報を関係機関への周知に努めた。 (2) 既存のサロンに電話や訪問での聞き取りを行った。今年度、コロナの状況に合わせた工夫をしながら再開をしたサロンが 1 か所あったが、他のサロンはまだ一般開放に至っていない。今後も各サロンの活動環境、開催方法などを把握し、支援を続ける。 (3) 感染対策の一環で「食事をしない」サロンとして体操の動画などを活用したサロンを地域と協働して行った。今後は、他機関と連携をしながら動画のコンテンツの充実を図る。

3. 関係者によるネットワークの構築

実績	評価と今後の課題
(1) 第一層協議体：計 2 回 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢介護課(担当)との打ち合わせ：計 9 回 ・協議会事前打ち合わせ(座長)：計 2 回 (2) 意見交換会：計 2 回 (3) 活動再開について話し合う場：計 10 回 (4) 関係機関の会議出席 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者あんしんセンター関連：計 10 回 ・地域ケアケース会議：計 8 回 ・その他の関係機関会議：計 5 回 (5) SC の取り組み等説明：計 6 回 (6) SC 研修会・会議への参加：計 12 回	(1) 協議体委員相互の情報共有や連携強化を目的に「おすすめの講座」や「ガイドブックツアー」をテーマに協議体でグループワークを実施した。各委員が自機関で実施している活動を共有することで、新たな視点に着目した企画案の提案などがあった。その企画案をもとに SC がより具体的に企画し、協議体委員とともに活動していく。 (2) 協議体委員数名に参加を依頼し、今年度も意見交換会を 2 階実施し、第 1 層協議体で生まれた企画案をより具体化できた。 (4) 地域活動のための体操動画作成には認知症地域支援推進員の協力を得た。 (5) 大阪府下の研修に参加し、これまでよりも幅広い情報を得ることができた。

4. 生活支援や介護予防の担い手の養成

実績	評価と今後の課題
<p>(1) シニア向け地域福祉オリエンテーション開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 4月22日（参加者 計17名） 9月21日（参加者 計18名） ・活動を把握するため訪問、聞き取り調査など：のべ36回 <p>(2) シニア向け地域福祉デビュー講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2クール（のべ12日）実施：参加者27名 <p>(3) 介護予防サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クール（のべ7日）実施：参加者29名 <p>(4) シニア向け地域福祉リーダー養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クール（のべ5日）実施：参加者数16名 <p>(5) 従事者研修講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のべ4回（7/1、9/1、11/1、3/1） 	<p>(1)～(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の対象者をより明確にし、「シニア向け地域福祉オリエンテーション」の終了後に「デビュー講座」「介護予防サポーター養成講座」の開催をするなど講座に連動性を持たせ、参加者が計画的に参加をできるように工夫を行った。 ・講座内でグループワークが実施できたことで、参加者同士の交流が進み、講座に意欲的に参加する人が増えた。 <p>(1)～(4)</p> <p>より幅広い市民に周知するために回覧板を活用し、多機関に配架協力を行ったこともあり、昨年度より参加者が増えた。</p>

※会議など出席回数は、すべて複数人参加による重複を除いてカウント。

※SC:生活支援コーディネーター